

〔質疑〕工場跡地の井戸水より、基準以上の有害物質の異常反応が出たと新聞報道されたが、市としてどのように把握しているのか。

〔答弁〕工場跡地から基準値を超える汚染物質が発見された事について、本年の7月に仙南保健所から連絡があった。その内容は、元の会社が自主的に土壌検査並びに地下水の検査を行った結果、土壌汚染対策法に基づく第一種特定有害物質、その中でテトラクロロエチレンという物質の地下水濃度が基準値の最大2千600倍であったと県に報告された。

周辺の地域で井戸水を飲用している住民の方がいるが、県がすぐにその井戸水について検査をした結果、幸いにも基準どおりの水質であり、問題は無いと報告があった。

〔質疑〕市内の中小零細企業の業務内容について、実態調査はどのようにしたのか。

また、商工会議所と企業に対する施策を考える時に、お互いの調査に基づいて検討する機会はあるのか。

〔答弁〕21年度設置された企業立地推進室で、企業のニーズを把握するため市内企業を訪問した。

商工会議所とは、検討会という決まった定例の会議は設けていないが、随時情報交換しながらいろいろな要望等について対応している。

〔質疑〕以前のように花見の時期、益岡公園内に出店をする事はできないのか。

〔答弁〕お客さんの入りが少ないのが原因かどうかかわからないが、出店する業者がいなくなっている。



益岡公園

予算審査特別委員会

第56号議案・平成22年度白石市一般会計補正予算(第3号)から第62号議案・平成22年度白石市水道事業会計補正予算(第1号)までの計7議案については、定例会3日目(9月7日)の本会議において質疑が行われた後、議長を除く全議員で構成する予算審査特別委員会が設置され、審査が付託されました。

同委員会(委員長・制野敬一、副委員長・沼倉昭仁)で、9月10日に審査した結果、全会一致で原案のとおり可決しました。

審査の中で議論されたおもな点は次のとおりです。

◎第56号議案・平成22年度白石市一般会計補正予算(第3号)

総務財政所管

〔質疑〕市民バス「小原線」が運行する場合、従前の運行時刻との違いにより、市民に不便をかけることはないのか、伺いたい。

〔答弁〕小原地区で、2回ほど説明会を開催し、運行時間帯に對しての要望があったが、往復4便を運行することで了承いただいている。

建設産業所管

〔質疑〕中山間地域等直接支払交付事業について、8集落が今回第3期に取り組まれるという話だが、第2期と比べて第3期に取り組まれる集落数に変化があったのか。また対象面積、交付金などについてどのような変化があったのか伺いたい。

〔答弁〕第2期と同様の地域である。

面積の変化については、前回が94万8千94平方メートル、今回は86万7千966平方メートル

ルとなり減っている。
金額についても、前回が1千804万487円であったが、今回は1千624万3千595円である。

教育民生所管

〔質疑〕防犯灯設置工事による、防犯灯の設置箇所、個数と設置する基準を伺いたい。

〔答弁〕設置場所は今現在未定だが、40か所ぐらいに設置したい。場所等については、自治会長の要望を受け、決定している。

◎第62号議案・平成22年度白石市水道事業会計補正予算(第1号)

〔質疑〕湯元簡易水道応急送水施設設置工事について、スパシユランドから水を持つてくるということだが、大つり橋にかける水道管の揺れに對する安全性についてはどのように対応していくのか。

〔答弁〕設計書の中身を検討した結果、40ミリの太さの水道管を橋梁に添架しても、耐え得るという結果が出たので、十分に安全性は保てるかと考えている。